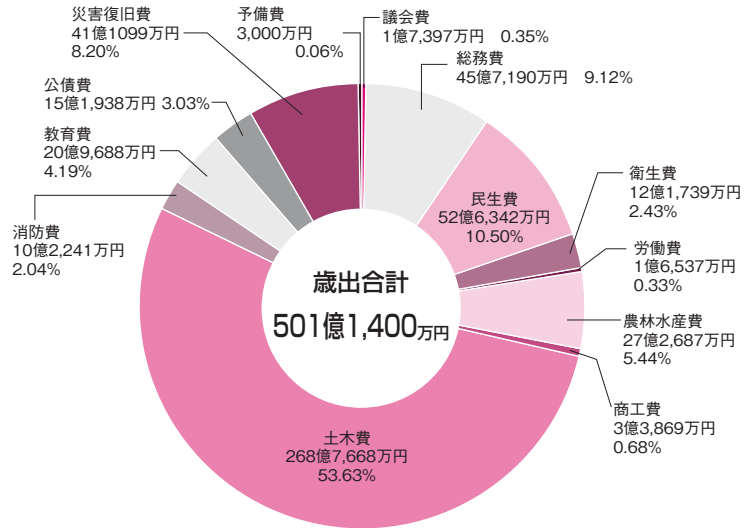
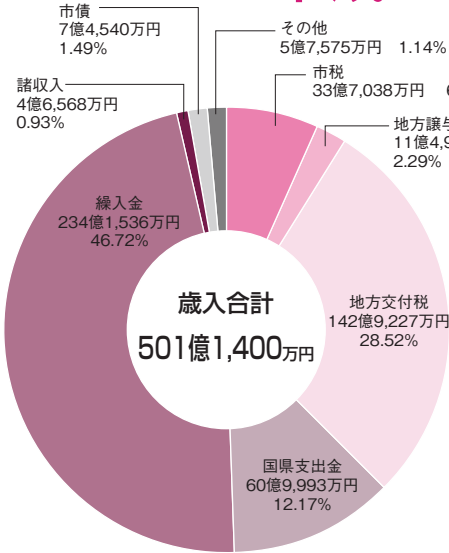


平成28年度一般会計収支状況



▲財務常任委員会での採決の様子

予算審査状況

本年度の予算は、平成28年度の事業について、復興が加速されたことによる予算全体が前年度比約200億円強の減額となった。しかし、いまだ現在進行形であることには変わりがなく、250件余の質疑が出され活発な議論が展開された。

予算審査を付託された財務常任委員会は、「総務」「民生教育」「産業建設」の3分野を専門的に審査するため、3つの分科会を設置した。

財務委員会への付託から分科会集中審査、予算事業に関する11カ所の現場調査を経て財務委員長の本会議報告まで、正味7日間の日程で精力的に審査をした。

内容は主に震災復旧復興の進捗、被災者の移転、生活自立支援、堤防・避難道路など防災関連。農林水産業など産業復興の状況。国民健康保険の財政問題。学校移転、下水、道路など社会資本の整備等々、市民目線での審査をしました。結論は財務委員長報告のとおり。

予算審査 財務常任委員長報告 可決すべきもの

19項目の意見、提言を添え可決すべきと決定

今回の予算審査は、一般会計ほか国民健康保険・下水道・震災関連事業など9つの特別会計の総額は前年度比200億6396万円(20.5%)減の778億円ではあるが震災前の通常予算の約3.5倍という多額のもので、復旧復興の進捗、適正な予算の配分であるかの議論の結果、本年度予算を可決すべきものと決定しました。勿論無条件では無く19項目の意見・提言の上であります。市当局は市民の声であると捉え、行財政運営に当たって頂きたい。

▶ 審査結果を報告する
佐藤富夫委員長



平成28年度各種会計のあらまし

(単位：千円)

会計区分	28年度 予算額	27年度 予算額	増減額	前年度比較	
一般会計	501億1,400万0	668億9,570万0	△167億8,170万0	△25.1%	
特別会計	国民健康保険	60億3,284万1	61億8,619万9	△1億5,335万8	△2.5%
	後期高齢者医療	3億3,671万2	3億3,962万6	△291万4	△0.9%
	介護保険	29億1,093万3	29億4,546万5	△3,453万2	△1.2%
	農業集落排水事業	1億5,793万8	1億3,800万7	1,993万1	14.4%
	漁業集落排水事業	898万0	903万1	△5万1	△0.6%
	下水道事業	92億6,396万6	104億3,172万5	△11億6,775万9	△11.9%
	野蒜北部丘陵地区土地区画整理事業	62億1,112万5	70億1,133万5	△8億21万0	△11.4%
	東矢本駅北地区土地区画整理事業	1,346万5	9億1,454万1	△9億107万6	△98.5%
	大曲浜地区土地区画整理事業	27億5,030万0	29億9,260万0	△2億4,230万0	△8.1%
合計	778億26万0	978億6,422万9	△200億6,396万9	△20.5%	